

JP031 松前小島 (まつまえこじま)

北海道：松前町

位置	N 41° 21′ E 139° 48′
面積	115ha

環境構成【島嶼／草地】

松前町の西、沖合約 26 km に浮かぶ松前小島は、周囲およそ 4km の無人島である。島の大部分は草原であるが、火口原の御殿盆地にはイタヤカエデ林が生育している。島の海岸部は急峻な断崖で、海岸部から島内にはいることは出来ない。唯一避難港の背後から島内へ入るルートはあるが、国指定の天然記念物であるため、許可なく島内に立ち入ることはできない。以前、弁天神社西側にあったウトウのコロニーは、北岳の海岸寄りに移っている。松前小島周辺には大ヒヤク島、小ヒヤク島、天神島、サザエ島等大小様々な島々が点在し、海鳥の繁殖場所となっている。



写真：松前町教育委員会

選定理由

A4i	ウミネコ
A4ii	ウトウ
A4iii	ウミネコ

保護指定

サイトの全域（90%以上）に法的な担保がある

<保護指定の内容>

都道府県指定小島鳥獣保護区、都道府県立自然公園（松前矢越道立自然公園）、自然環境保全地域

<その他>

国指定天然記念物松前小島

保全への脅威

- ・無許可での島内への立ち入り
- ・釣り人の残すゴミ、漂着ゴミ
- ・ゲリラ豪雨による土砂災害

- ・避難港周辺の落石防止工事
- ・御殿盆地のイタヤカエデ林の枯死等による湧水の減少

鳥類の個体数、生息環境の現状

- ・ IBA サイトにおける重要な鳥類（IBA 選定基準種）の個体数の変化：不明
- ・ IBA 基準種の個体数のカウント調査実施の有無：無
- ・ IBA エリアの保全管理計画の有無：無

保全活動

- ・ 法律制定、政策、規制：実施者（文化庁・北海道教育委員会・松前町教育委員会）
内容：国指定天然記念物である松前小島について、文化財保護法に基づき、島本土への立ち入り等について規制を行っている。
- *以前は密漁監視人が夏場だけ常駐して島内への無許可立ち入り者に注意していたが、現在は行われていない。

見られる鳥

松前小島の周囲は急峻な岩場がつづき、海鳥の繁殖地になっている。島内には草原性の鳥が繁殖しているがその数は多くない。渡りの時期には、中継地として利用されていると思われるが詳しい調査はされていない。

無人島であるため、詳しく調査されていないが、以下の種が確認されている。

確認種	ウトウ、ウミウ、ヒメウ、ウミガラス、ケイマフリ、ウミネコ、オオセグロカモメ、イソヒヨドリ、アマツバメ、ハクセキレイ、ウグイス、ホオアカ、ハシブトガラス
------------	---

*松前小島の周辺海域は、マリーン IBA（Marine Important Bird and Biodiversity Areas：海鳥の重要生息地）に選定されている

詳しくはこちら <http://www.wbsj.org/activity/conservation/habitat-conservation/miba/>



Sources: Esri, HERE, DeLorme, TomTom, Intermap, increment P Corp., GEBCO, USGS, FAO, NPS, NRCAN, GeBCo, IGN, Kadaster NL, Ordnance Survey, Esri Japan, METI, Esri China (Hong Kong), swisstopo, MapmyIndia, © OpenStreetMap contributors, and the GIS User Community